



2021年10月29日

各位

会社名 テクノホライズン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
 (JASDAQ・コード6629)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役 加藤 靖博
 電話 052-823-8551

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日~2022年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	33,000	3,000	2,900	2,300	170.66
今回修正予想 (B)	36,500	2,000	2,000	1,500	111.30
増減額 (B-A)	3,500	▲1,000	▲900	▲800	
増減率 (%)	10.6	▲33.3	▲31.0	▲34.8	
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)	26,481	2,420	2,533	2,147	159.31

2. 修正の理由

当社は、将来の成長に向けた拠点整備や人員採用及びM&Aを積極的に推進しております。M&Aの大型案件として、本年5月にPacific Techグループ (シンガポール)、同9月にアポロ精工株式会社の買収を行い、完全子会社化しました。下期にはこれら買収した企業の業績が当社グループの業績に寄与することから、売上高は前回発表を上回る見込みです。

一方、利益面では、映像&IT事業の主力である教育市場向けの書画カメラや電子黒板の国内販売が前期の需要増の反動により、想定を下回り推移しています。また、映像&IT事業とロボティクス事業ともに半導体部品の調達難の影響を強く受け、価格の上昇により収益を圧迫しています。現在の経営環境を鑑みると、当期実行した投資に対する収益化が当初の計画より、時間がかかると判断しました。

以上の理由から、通期連結業績予想を修正するに至りました。

※ 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上